

宮崎県立図書館ビジョンの概要

～ 「知の共有・創造」を支える全県図書館ネットワーク ～

1 ビジョン策定の趣旨

「未来を築く新しいゆたかさ」の実現を担う人財育成や「日本一の読書県」づくり、「宮崎県立図書館ビジョン懇談会」の提言、県内の公立図書館の実情などを踏まえ、**県立図書館の今後目指すべき姿や果たすべき役割、今後の施策展開の方向性等を明確化する**ものです。

2 ビジョンの性格

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年文部科学省告示第172号）を踏まえた、宮崎県総合計画「未来みやざき創造プラン」（平成27年7月改定）及び「**第二次宮崎県教育振興基本計画（改定版）**」（平成27年9月改定）の下位計画に位置づけるものです。

3 ビジョンの期間

平成30年度からの10年間とし、必要に応じて見直すものとします。

4 公立図書館を取り巻く社会情勢

《全 国》

(1) 図書館法の改正

- 図書館の運営状況に関する評価及び改善並びに地域住民等に対する情報提供に努めること

(2) 公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準の改正

- 運営状況に関する評価の実施やその結果の住民への情報提供
- 図書館相互の連携のみならず、国立国会図書館、学校、民間団体等との連携・協力 など

(3) 「第2期教育振興基本計画」の策定

- 一人一人が生涯にわたって能動的に学び続け、必要とする様々な力を養い、その成果を社会に生かしていくことが可能な**生涯学習社会**
- 個々人の直面する課題や社会の多様な課題に対応した質の高い学習機会等の充実や学習成果の広く社会での活用、全校一斉の読書活動や公立図書館と学校の連携等による**読書活動の推進** 等

(4) 次期学習指導要領の改訂

- 「**主体的・対話的で深い学び**」の視点からの授業改善の充実

(5) 学校図書館の整備充実

- 教育委員会は、学校が**学校図書館の機能を十分に利活用できる支援や学校図書館の充実に向けた施策**を推進
- 学校図書館図書標準を達成していない学校への達成に向けた支援や、廃棄・更新の支援
- 児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動**を充実

《本 県》

(1) 未来みやざき創造プラン

- 県民が読書に親しむ環境の整備を通じた「**日本一の読書県**」に向けた取組の推進
- 県立図書館等の社会教育施設の機能の充実とサービスの向上**

(2) 「第二次宮崎県教育振興基本計画（改定版）」の策定

- 学校図書館を活用した読書活動や一斉読書等の取組、保護者等に読書の大切さを知らせる機会の充実、**学校図書館・公共図書館等の読書環境の整備**
- 県立図書館や学校、家庭、地域等との連携**により、子どもから大人まで、生涯にわたって読書に親しむ環境づくりを推進し、**日本一の読書県**を目指す
- より多くの県民が来館し、自然・歴史・文化・芸術に親しめるよう、**図書館・博物館・美術館等における機能の充実とサービスの向上**への計画的な取組
- 県民の生涯学習をさらに推進するための**県の機関と市町村の機関相互の情報のネットワーク化**

5 県立図書館のこれまでの取組と主な課題

県立図書館では、平成18年度以降、「**人づくりと地域づくりに役立つ図書館**」を目指して、6つの目標のもと、各種施策を実施してきました。主な課題は、以下のとおりです。

1 県の情報拠点としての図書館

- 図書配送システムの活用促進
- 必要な図書資料費の確保や県と市町村との役割分担を踏まえた効率的な資料の収集・整備

2 図書館のための図書館

- 間接サービスの充実・強化
- 全県的な図書館サービスの底上げとネットワークの拡充
- 公立図書館職員の資質向上や人的ネットワークの強化等
- 県立学校と連携した学校の図書館活動や「主体的・対話的で深い学び」の支援
- 中高校生や子育て・就労世代の読書離れへの対策
- 県民や企業等の「知の共有・創造」の促進
- 司書資格のみならず、幅広い視野と知識、ネットワークを有する専門的人財の中長期的な育成・確保

3 豊かな暮らしに役立つ図書館

- 館内展示、セミナー、相談会の時代のニーズに応じた実施方法の改善や内容の充実
- 県内各地での企画展示等展示方法の検討
- 「やまびこ文庫」や宅配サービス等の普及

4 県民や地域の課題解決を支援する図書館

- 様々な課題解決に対応できる専門性の高い人財の育成・確保
- 図書館情報を政策形成や起業等に活用する取組の促進
- 民間団体を含む関係専門機関と連携した課題解決支援

5 郷土の文化を大切にする図書館

- 専門的技術を有する人財の確保、育成
- 言語文化の継承の人財の活躍の場の確保

6 成長・発展する図書館

- 情報発信の中核拠点としてリーダーシップの発揮
- 市町村立図書館（室）との連携による知的インフラの底上げ
- 図書館の運営状況に関する評価・公表・サービスの改善等
- 危機管理体制の強化

6 県立図書館の今後果たすべき基本的役割 ～どこでも・ささえる・つながる～

基本的考え方

市町村立図書館（室）は、住民に対する資料や情報の提供等の直接サービスを主に担っていますが、県立図書館は、**県民への直接サービス**を行うとともに、**市町村立図書館（室）や学校図書館等の設置及び円滑な運営を支援**することにより、**県内の図書館サービスの全体的な進展を図る、広域的かつ総合的な役割**を担っています。

県内の公立図書館は、**県民共有の財産とも言うべき約400万冊の蔵書**をはじめ、長年にわたって蓄積された豊富な図書館資料を有しており、**円滑な図書流通システムや相互貸借**を活用すれば、**県民が生涯にわたって読書に親しむ「日本一の読書県」づくりの推進基盤**となることが可能です。

今後、県立図書館としては、**各市町村における図書館等の機能充実**を踏まえながら、**市町村からの要望が強い専門的人財の育成・確保**に努めつつ、**全県に均質な図書館サービス**が提供できるよう、**市町村等への人的・物的支援にこれまで以上に重点的に取り組む**こととします。

さらに、**県立図書館がリーダーシップを発揮して、市町村立図書館（室）や学校図書館、大学図書館等の県内の図書館が人的・物的にネットワーク化された全県的な知的インフラを構築し、明日のみやぎの「人づくり」「くらしづくり」「産業づくり」に貢献していく**こととします。

どこでも	市町村立図書館（室）や学校図書館、大学図書館等と連携・協力して、県民が生涯にわたって読書に親しむ「日本一の読書県」づくりの一翼を担う「 全県的な読書環境を整える図書館 」
ささえる	専門的なサービスを提供するとともに、「地域の知の拠点」である市町村立図書館（室）や学校図書館等を人的・物的に支援する「 図書館を支える図書館 」
つながる	県立図書館が核となって図書館間のネットワークを形成し、それらに蓄積された豊富な情報資源に県民が触れ、知を共有し、そこから新たな知が創造される「 知の共有・創造の拠点となる図書館 」

基本目標

「知の共有・創造」を支える全県図書館ネットワーク

基本的役割を踏まえ、本ビジョンの基本目標を《「知の共有・創造」を支える図書館ネットワーク》と定め、**県内の図書館全体が県立図書館を核に丸ごと一つの大きな図書館**であるかのように有機的につながり、様々な情報資源や人的資源を活用し合うことで、**県全体に均質な図書館サービスを提供**し、生きる力や豊かな感性、創造力を兼ね備えた**人財の育成**と、個人・地域が抱える課題解決やみやぎの地方創生につながる「**知の共有・創造**」に大きく貢献していくことを目指します。

今後の施策展開の方向性

基本目標や主な課題等を踏まえ、今後の施策展開の基本的な方向性として次の5つを定め、具体的な施策を密接に関連させながら、施策の成果をより高めていくよう努めます。

- ① 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核となります。
- ② 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実を図ります。
- ③ 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決を支援します。
- ④ みやぎの文化の理解・継承を促進します。
- ⑤ 図書館ネットワークを支える人財を育成します。

基本
目標

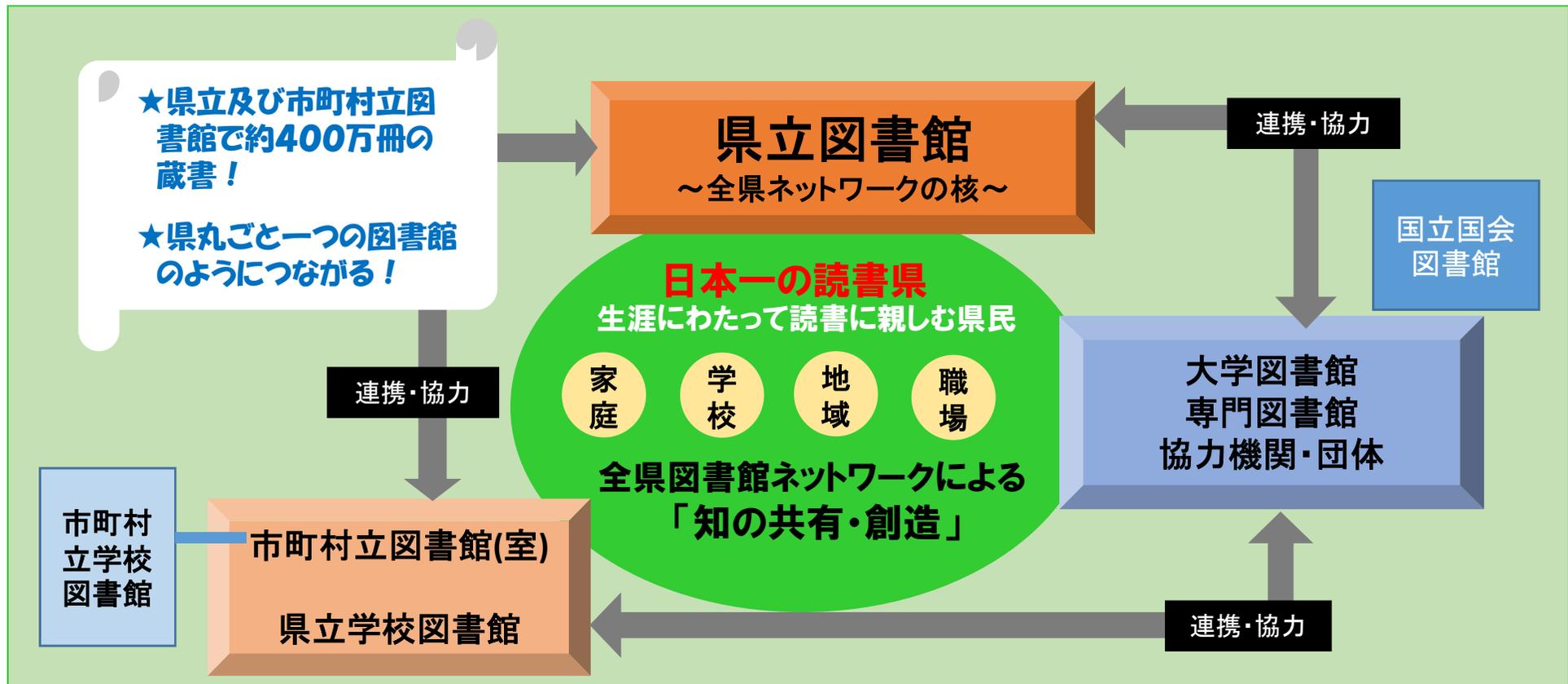
「知の共有・創造」を支える全県図書館ネットワーク

県立図書館の基本的役割

- | | |
|------|------------------------|
| どこでも | I 「全県的な読書環境」を整える図書館 |
| ささえる | II 「図書館」を支える図書館 |
| つながる | III 「知の共有・創造の拠点」となる図書館 |

今後の施策展開の方向性

- ①全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核となります。
- ②県立図書館ならではの専門的なサービスの充実を図ります。
- ③「知の共有・創造」による深い学びや課題解決を支援します。
- ④みやざきの文化の理解・継承を促進します。
- ⑤図書館ネットワークを支える人財を育成します。



7 今後の施策展開の方向性

① 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核となります。

1 市町村立図書館（室）等の支援

○図書配送システムの活用 ○支援チームによる巡回訪問 ○専門研修

2 学校図書館の支援

○やまびこ文庫・セット文庫 ○図書配送の拡充 ○学校司書の支援

3 市町村立図書館、学校図書館、大学図書館等とのネットワークの構築

○情報や課題共有の場づくり ○横断検索・相互貸借の充実 ○人的ネットワーク

4 図書館活動を支える施設・システムの維持管理

○書庫スペースの確保 ○老朽化・危機管理対策 ○情報システムの更新

② 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実を図ります。

1 レファレンスサービスの充実

○資料や関係機関等の紹介 ○相互貸借 ○国立国会図書館協同データベースの活用

2 専門的な資料・情報の収集・整理・保存・提供

○市町村との役割分担 ○特色のあるより専門的な資料の収集等
○「世界ブランド」のみやざきづくりの視点での知の収集等

3 読書活動の推進

- 生涯読書活動の促進
- 中高校生・大人の読書振興
- 障がい者・高齢者サービス

4 他の専門機関との連携

- 博物館、大学図書館、商工・農業・福祉保健団体、企業等

5 館外活動の実施

- 市町村立図書館（室）の訪問
- 読書関連イベント等への参加・協力

③ 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決を支援します。

1 情報アクセス環境の整備

- 他の図書館や専門機関との情報共有・ネットワーク

2 課題に応じた情報サービスや「知の共有・創造」の場の提供

- ワンストップサービス
- 多様な情報サービスや学習機会の提供
- 個人や団体、産学官の関係者などの深い学びの場づくり

3 政策立案の支援

- 政策情報の収集
- 政策情報提供サービス
- レファレンス

4 地域の実情に応じた課題解決型サービス

- 産業振興、子育て支援、高齢者対策など地域課題の解決支援

④ みやぎの文化の理解・継承を促進します。

1 地域資料の収集・保存・活用の全県的な促進

- 歴史、行政、民間、視聴覚資料等の幅広い収集等
- 市町村との役割分担
- 長期的保存・活用

2 地域情報の収集・整理・発信

- 積極的な収集
- 展示や講座等
- 国民文化祭等での発信

3 地域情報のデジタル化・データベース化

- データベース化による一元管理
- 貴重書等のデジタル化（デジタルアーカイブ）

4 本県の言語文化の継承

- 次世代の「語り部」養成
- 『みやぎの言の葉』のさらなる普及・活用

⑤ 図書館ネットワークを支える人財を育成します。

1 専門的なサービスを支える人財の育成・確保

- 幅広い知識や技能、ネットワーク力を有する人財の中長期的な育成・確保
- 市町村立図書館（室）との人事交流や中長期の研修受け入れの検討

2 新たな知識の習得・共有

- 研修派遣
- フィードバックによる成果の共有

3 組織及び事業の改善

- 利用者ニーズや社会の動向等の把握
- 組織や事業の自己点検や外部評価による改善

8 ビジョンの推進に当たって

- 本ビジョンの考え方や内容等を関係者に対しわかりやすく説明し、理解と協力が十分に得られるよう努めます。
- **平成30年度からの3年間に優先的に取り組む施策や数値目標等を明らかにしたアクションプラン**を策定します。
- アクションプランにおいて、施策の効果を計る指標を設定し、毎年度検証・公表しながら的確に進行管理をし、施策の見直しに反映させます。

担当 宮崎県立図書館
総務企画課 企画担当
☎0985-29-2911